

# eトレ授業時の上手な生徒対応

## 基本スタンス

学習システムを使ったトレーニングで大切なポイントは、飽きさせずに繰り返しプリントをたくさん解かせていくことです。したがってスタッフとしての条件は以下の点が重要となります。

- ①常に明るく元気に対応しましょう。
- ②合格・不合格の判定時にはオーバーアクションで褒めたり励ましたりしましょう。
- ③プリントを渡す時は、できるだけ一人一人に声をかけましょう。
- ④パソコン操作は常に素早く行い、次の生徒を待たせないようにしましょう。

## プリントを渡すとき

問題を選択してプリントを出力する時は、生徒に声をかけましょう。

(例)

「さあ、がんばっていこう」「自分のペースでいいからじっくりやろう」  
「満点を狙おう」「わからないところはラーニングを見直そう」、等

## 合格の判定画面のとき

得点入力をして、あるいはペン採点をして「合格です」の判定が出た時が最も重要な場面です。ここで上手な対応ができるか否かでクラスの雰囲気が大きく変わってきます。以下の表現を参考に大いに盛り上げましょう。

(例)

「やった!その調子」「いいぞ!がんばっているね」「よし!OK」  
「すごいぞ。次も合格しよう」、等

## 不合格の判定画面のとき

得点入力をして、あるいはペン採点をして「クリアできませんでした」の判定が出たときは、叱るよりも励ます方向で対応しましょう。

(例)

「おいしい!次はがんばろう」「残念!リトライで見返そう」  
「くやしいけどあと少しだったね。次はきっと大丈夫だよ」  
「弱点が見つかってよかったね。ここでしっかり覚えよう」、等

※「合格」「不合格」いずれの場合も必ず生徒の顔をしっかりと見て、元気良く明るく対応することが大切です。

## 不合格が続いたとき、又は問題が解けずにプリントが全く進まないとき

何回も不合格が続いたり、最終的にチェックテストのリトライでも不合格になってしまったりした場合には、一旦次のように対応して、別の単元に切り替えて勉強させましょう。

(例)

「この単元はまだトレーニングの段階まで来ていないようだね。ここまでのプリントで分からない所は今度〇〇先生に質問してみよう。今日のところはもう少し分かっているところから始めよう。」「まだ難しすぎたかな。じゃあもう少し基本的なところから練習してみよう」

※以上はeトレの時間に教科内容の指導をしない場合の対応です。教科指導をする場合にはその場で必要に応じて解説や指導をしてください。

## スタッフが教科内容について生徒に質問されたとき

生徒には事前に、「トレーニングの時間はラーニングの解説をよく読んで、自分の頭で考えて問題を解いていくもの」という事をしっかりと伝えておきます。しかし、だからと言ってトレーニング中に生徒から質問があったときに、「それには答えられない」とか「答えてはいけな決めりだ」などと言ってしまっはイメージが良くありません。次のような対応をお勧めします。

(例)

「もう一度ラーニングのプリントと照らし合わせてやってみよう。それでも分からなかったら、印をしておいて今度教科の先生に質問しよう」  
「そうか、その点についてはやはり教科の専門の先生に答えてもらうのが一番だね。伝えておくから、〇〇先生に授業の前で質問してごらん。今日のところは分からないところに印を付けておいて、他のできるところをどんどん進めていこう」

## eトレ授業での生徒対応のポイント

- ◆明るく元気良く対応する。
- ◆生徒を騒がせたりだらけさせたりしないよう、はじめのある雰囲気を作る。
- ◆生徒を待たせないよう、素早く操作をする。
- ◆間違えた箇所などを丁寧に説明し過ぎて、次の生徒を並ばせたりしないよう注意する。  
※トレーニングクラスとして設定している場合、質問などは別の時間に。
- ◆難しくしてほとんど解けない単元の場合は、途中で別の単元に切り替えて、できるところからやらせるようにする。
- ◆教科担任の講師や教室責任者との連携をとって、eトレの演習で最後まで理解できなかったところの説明や質問の対応など、フォローをしっかりと行えるようにする。